

国家と地図

東京地学協会副会長・元国土地理院院長

講師 **星 埜 由 尚 氏**



伊能忠敬像

〔講演概要〕

地図は文字より古いと言われます。人類は太古の昔から地図を作成してきました。国家が形成されると、国家は、領土の明示、徴税、土木建設などのために様々な地図を作成します。わが国においても、律令国家の形成とともに国家の地図が作成され、江戸幕府の国絵図、伊能忠敬の全国測量、明治政府の近代地図などを経て、現在の国土地理院が作成する国家の地図に繋がっています。

このような地図作成の歴史と地図作成技術の変遷について国絵図、伊能図、近代の地形図などを例に採り説明します。国家・国民にとって地図がいかなるものか理解頂けるようにしたいと思います。

2018年
5/12 **土**

開場 14:30

開演 15:00

会場：東京経済大学 国分寺キャンパス B301 教室(予定)

参加費：無料 ※事前申込制

申込方法：裏面の申込用紙にご記入の上、FAXまたは郵送でお申し込みください。
また、本学ウェブサイトからも申し込みいただけます。
(電話での申し込みは受け付けておりません)

申込締切：2018年5月8日(火) ※ただし、定員に達し次第、受付終了となります。

定員：先着400名 ※申込順に入場券を発送いたします。

主催：東京経済大学・大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会

【国分寺駅からのアクセス】



東京経済大学